大阪府立千里高等学校

学校番号	３０１３

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版「高等学校　家庭基礎　ともに生きる・持続可能な未来をつくる」（第一学習社）						
副教材等	最新　生活ハンドブック　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇生活に興味関心を持ち、SDGｓの視点から、積極的に生活改善に取り組みましょう。

・社会や身近な生活の中から課題を見つけ、解決方法を考え、計画を立てて実践します。発表を行い、班で更によりよくするための話し合いを行い、再度、計画を立てて実践し、発表を行います。

２　学習の到達目標

自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会や生活の中の課題解決について関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	自己の生活上の課題を見出し、その解決を目指して、科学的に探究し、他者に伝わりやすいよう工夫して表現している。	計画に沿って実践することができる。 資料収集や分析または他者に伝わりやすいように発表するため等に、コンピューターやプロジェクター等の機器を効果的に使用することができる。 他者に伝わりやすいように発表することができる。	生活の中の課題解決の実践に必要な知識を身につけている。 プレゼンテーションについての基礎的知識を身に着けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述・提出 レポート 自己評価　等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート・発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 レポート・発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート・発表 自己評価・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月・5月	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	○課題研究の学び方 ○研究課題設定 ○基礎研究 課題についてインターネットや文献等による知識を得たり、資料を分析する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a、課題研究に関心を持ち、積極的に課題設定や基礎研究に取り組もうとしている。 b、自分の身近な生活をＳＤＧｓの視点で見つめなおして適切な研究課題を設定し、適切な資料等を選択できる。 c、必要に応じて、情報機器の利用等を含む様々な方法で資料収集や分析を行うことができる。 d、課題解決に必要な知識を理解し、身に着けている。	授業観察 プリント レポート
6月・7月・8月		○実践研究Ⅰ 基礎研究を踏まえて、課題解決のための実践計画を立て、実践し、記録し、レポートを作成する。	○	○	○	○	a、課題研究に関心を持って積極的に実践研究に取り組もうとしている。 b、自分の基礎研究・実践研究を他者にわかりやすく伝えるために効果的な表現を工夫している。 c、実践及びレポート作成に必要な技能を身に着けている。 d、実践及びレポート作成に必要な知識を理解し、身に着けている。	授業観察 レポート
9月		○発表	○	○	○	○	a、課題研究に関心を持って積極的に発表に取り組もうとしている。 b、自分の基礎研究・実践研究を他者にわかりやすく伝えるために効果的な表現を工夫している。 c、機器等を効果的に使用して他者にわかりやすく発表する技能を身に着けている。 d、発表に必要な知識を理解し、身に着けている。	授業観察 発表 自己評価 相互評価

10 月 ・ 11 月 ・ 12 月		○意見交換 それぞれの研究をより深めるために班で意見交換会を行う。 ○実践研究Ⅱ 意見交換を踏まえ、再度、実践計画を立て、更に実践研究を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a、積極的に意見交換に参加し、課題研究をより深めようとしている。 b、自分の意見を適切に表現して意見交換し、実践研究を更に深める適切な研究方法を考えることができる。 c、意見交換や実践研究に必要な技能を身に着けている。 d、実践研究をより深めるために必要な知識を理解し、身に着けている。	授業観察 プリント レポート
1 ・ 2 月		○発表	○	○	○	○	a、課題研究に関心を持って積極的に発表に取り組もうとしている。 b、自分の実践研究を他者にわかりやすく伝えるために効果的な表現を工夫している。 c、機器等を効果的に使用して他者にわかりやすく発表する技能を身に着けている。 d、発表に必要な知識を理解し、身に着けている。	授業観察 レポート 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。